

# ミクロ経済学

尾山 大輔

(松井教授担当授業の代講)

[www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/komabaMicro16](http://www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/komabaMicro16)

2016 年 9 月 26 日

# 概要

- ▶ 標準的なミクロ経済学を学ぶ
- ▶ A1・A2 ターム 月曜日 1・2 限 (8:30–12:10)
- ▶ 1323 教室
- ▶ 担当教員：松井彰彦  
(9月26日・10月3日は尾山が代講)
- ▶ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱを同時に履修すること、片方だけの履修は認めない。  
同じときに試験を行い、同じ成績をつける。
- ▶ 成績：期末試験
- ▶ 9 回程度の宿題が出る (提出不要)

→ [www.amatsui.e.u-tokyo.ac.jp/microkomaba2016.html](http://www.amatsui.e.u-tokyo.ac.jp/microkomaba2016.html)

## 教科書・参考書

準教科書 (どちらか1冊は必ず, できれば2冊とも手に入れること)

- ▶ 奥野正寛「ミクロ経済学」東京大学出版会
- ▶ 神取道宏「ミクロ経済学の力」日本評論社

補助資料

- ▶ 奥野正寛「ミクロ経済学演習」東京大学出版会
- ▶ 尾山大輔・安田洋祐(編著)「経済学で出る数学」日本評論社
- ▶ ルービンシュタイン「ゲーム理論の力」東洋経済新報社

## (ミクロ) 経済学とは

- ▶ よりよい社会を実現するためには、社会がどう動いているのか・動くのかを理解する必要がある
- ▶ 経済学はそのための物の見方・分析枠組を提供する学問 (のひとつ).
- ▶ 経済学の分析のひな形：
  - ▶ 外的要因 (制度や政策)
    - ⇒ 各主体 (人や企業) の行動決定
    - ⇒ 主体たちの行動の集計
    - ⇒ その評価 (各主体による評価に基づく)
- ▶ 数学モデルを用いて分析
  - ▶ 各主体はそれぞれ何らかの目的関数を最大化しているとみなす
  - ▶ 「すべての主体の最適行動どうしが『均衡』している状態」として現実の現象をとらえる

## (ミクロ) 経済学とは

- ▶ 「ミクロ経済学」の授業でやること
  - ▶ 経済学のさまざまな分野の基礎となる分析道具を学ぶ
  - ▶ それらの道具を使って現実の現象を分析してみる
- ▶ 対象
  - ▶ 市場制度
  - ▶ その他の制度 (組織の内部など)
- ▶ 理論
  - ▶ 価格理論
  - ▶ ゲーム理論

# 講義内容

0. ミクロ経済学とは
1. 選択理論
2. 消費者理論
3. 生産者理論
4. 市場均衡と厚生経済学
5. 市場の失敗 I：外部性
6. 市場の失敗 II：公共財
7. 市場の失敗 III：独占
8. ゲームの理論
9. 寡占※
10. 情報の経済学※

## 実際に手を動かして問題を解いてみること！

- ▶ (提出不要だが) 宿題をちゃんと解く
- ▶ 問題集をやってみる
  - ▶ 奥野正寛「ミクロ経済学演習」東京大学出版会
  - ▶ 尾山・安田「経済学で出る数学—高校数学からきちんと攻める」日本評論社
  - ▶ 白石俊輔「経済学で出る数学—ワークブックでじっくり攻める」日本評論社
  - ▶ 神取道宏「ミクロ経済学の力をつけよう！」経済セミナー 2016 年度連載